

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名 一般国道201号 行橋インター関連	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局
起終点 自：福岡県行橋市吉国 至：福岡県京都郡苅田町二崎		延長 4.5 km

事業概要
 一般国道201号行橋インター関連は、国道201号の終点部に位置し、国道10号と連絡している。行橋市及び苅田町市街部の交通混雑の緩和並びに建設中の東九州自動車道や新北九州空港と筑豊地域とを連結する重要な道路として平成12年度に事業着手された延長4.5kmの4車線道路である。

H12年度事業化	H8年度都市計画決定	H15年度用地着手	H - 年度工事着手
----------	------------	-----------	------------

全体事業費：約220億円 | 事業進捗率：1% | 供用済延長：0.0km

計画交通量：30,700～35,500台/日

費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.1	総費用 (残事業)/ (事業全体) 144 / 150 億円 (事業費：130/136 億円) (維持管理費：14/14 億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 459/459億円 (走行時間短縮便益：415/415 億円) (走行費用減少便益：20/20 億円) (交通事故減少便益：24/24 億円)	基準年 平成16年
	(残事業) 3.2			

事業の効果等
 ・円滑なモビリティの確保（渋滞損失時間の削減、新北九州空港のアクセス向上）
 ・物流効率化の支援（重要港湾苅田港へのアクセス向上）

他6項目に該当

関係する地方公共団体等の意見
 当事業は現道の交通渋滞の緩和、新北九州空港へのアクセス向上等が期待されており、行橋市・苅田町など関係7市33町3村で構成される筑豊横断道路（201号）建設促進規制会（他1つの期成会）より毎年早期整備の要望がなされている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
 ・バイパスに並行する現道（国道201号）では年々交通量が増加しており、需要が高まっている。

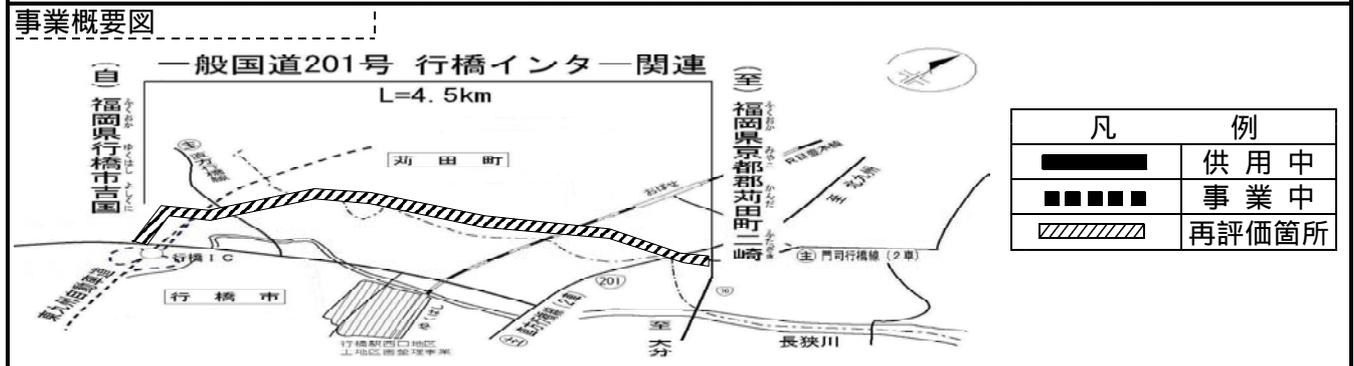
事業の進捗状況、残事業の内容等
 平成15年度に一部用地着手し、現在用地協議中。他の箇所についても現在設計協議を継続中。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
 今後、日本道路公団による東九州自動車道の整備にあわせるとともに、整備効果を勘案しつつ引き続き事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等
 現在、コスト縮減の観点より検討中。

対応方針：事業継続

対応方針決定の理由
 以上のことを勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。